

# EV向けバッテリー全自動交換ステーションの実証実験への参画について

## 背景・目的

電池交換型EVの将来的な普及及び理解の醸成を目的として、ENEOSホールディングス(株)及びAmple社が、EVバッテリー全自動交換ステーションを京都市内に設置し、輸送事業者等を対象として、実証実験を実施。

将来的に本市におけるEVの更なる普及に向けた選択肢の一つになりえるため、本市としても、バッテリー交換型EV1台を公用車として利用することで、実証実験に参画した。

## 実証実験の概要

参画企業が電池交換型EVを利用し、EV電池交換ステーションにおいて自動でバッテリー交換を行う。電池交換は将来的に5分程度での完了を目指す。

【実施主体】ENEOSホールディングス(株)、Ample社

【参画企業】輸送事業者など、京都府、京都市

【実証場所】京都府京都市南区西九条島町36

## 事業の全体像

### 実施主体

ENEOSホールディングス(株)、Ample社

・商用車利用  
・アンケート等

・ステーションの提供  
・電池交換EVの提供

・公用車利用  
・アンケート等

### 事業者

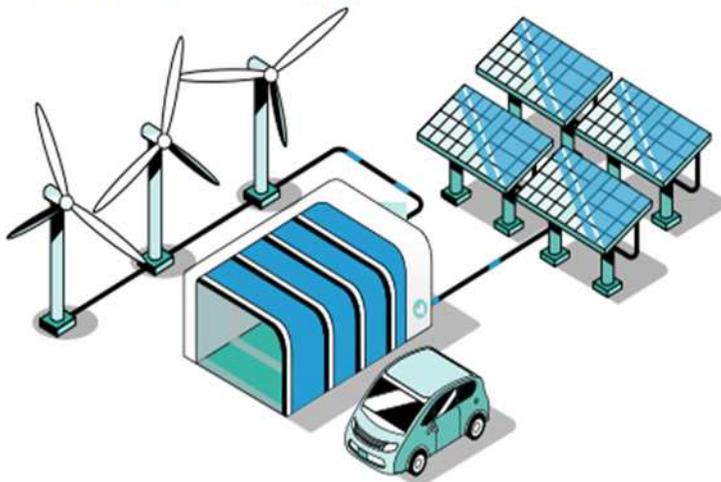
エムケイ(株)、ヤマト運輸(株)等

### 行政

京都府

京都市

地域内の再生可能エネルギーを有効利用



出典：ENEOSホームページ

<https://www.eneos.co.jp/chargeplus/action/>

EVユーザーに蓄電池交換サービスを展開

## 結果・考察

### ○実証実験期間：令和6年4月～令和6年11月

- ・令和6年5月から6月までの間、先行して、エムケイ(株)、京都市、京都府等が実証実験に参加した。
- ・令和6年8月から11月までの間、ヤマト運輸(株)等がEVトラック「eCanter」で実証実験に参加した。

### ○本市の結果

- ・利用期間：令和6年5月7日から令和6年6月7日まで（1か月）
- ・総走行距離：約300km/月（最長走行距離 約50km/日）
- ・ステーション利用回数：2回
- ・考察

本市の公用車利用では、市内走行のみ、また日中の利用のみで1日当たりの走行距離が短いため、車両台数が少数であれば夜間に普通充電する運用で問題ないと考えられる。

一方、商用車（タクシー、トラック、バス）は、1日当たりの走行距離が長く、充電時間をできるだけ短縮する必要があるため、EVバッテリー全自動交換サービスは、商用車での活用が期待される。

また、バッテリー交換時間がガソリン車の給油時間と同様に5分程度まで短縮できれば、更なる普及の可能性が見込めると考えられる。

